

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2023年 6月27日

埼玉県知事

大野 元裕 殿



提出者

住 所 埼玉県ふじみ野市福岡2丁目2番1号

氏 名 株式会社DNPファインオプトロニクス

代表取締役 中 村 治

電話番号 049(278)2458

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社DNPファインオプトロニクス 上福岡工場
事業場の所在地	埼玉県ふじみ野市福岡2丁目2番1号
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	電気機械器具製造業
② 事業の規模	生産金額 45,395百万円(2022年度実績)
③ 従業員数	800人(2023年5月末時点)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> * 製造フローシート ……図1. 2. 3. 4. 参照 * 排水汚泥処理フローシート ……図5参照 * 工場配置図 ……図6参照 * 廃棄物処理フローシート ……図7. 8. 9. 10参照

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

図11参照

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙Aのとおり
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) 塩化第2鉄廃液の有償化、製造工程の見直しにより削減出来た。	
② 計画	【目標】（2023年度）	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙Aのとおり
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) 継続活動の実施。	

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 定期的な分析により、最適な廃棄処理が出来ている。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も継続する。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】（2023年度）		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】（2023年度）		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】（2023年度）		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙Bのとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
Fe系塩化鉄廃液の有価物化実現により、廃棄物としての排出量が削減した。			

(第5面)

② 計画	【目標】(2023年度)		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙Bのとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 見直しを促進し、さらなる削減を図る。		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(2022年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	1339.3 t	
	(今後実施する予定の取組等) 全て電子情報処理組織を使用。 今後も継続して使用する。		
※事務処理欄			

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度(2022年度)実績

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥
排出量	527.6t	790.3t	15.6t	5.8t

○計画 目標(3%削減)

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥
排出量	511.8t	766.6t	15.1t	5.6t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○現状 前年度(2022年度)実績

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥
全処理委託	527.6t	790.3t	15.6t	5.8t
優良認定処理事業者への 処理委託量	40.5t	0.1t	0.0t	5.8t
再生利用業者への 処理委託量	527.6t	695.4t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者への 処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0t	0.0t	15.6t	0.0t

○計画 目標(3%削減)

産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥
全処理委託	511.8t	766.6t	15.1t	5.6t
優良認定処理事業者への 処理委託量	39.3t	0.1t	0.0t	5.6t
再生利用業者への 処理委託量	511.8t	674.5t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者への 処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0t	0.0t	15.1t	0.0t

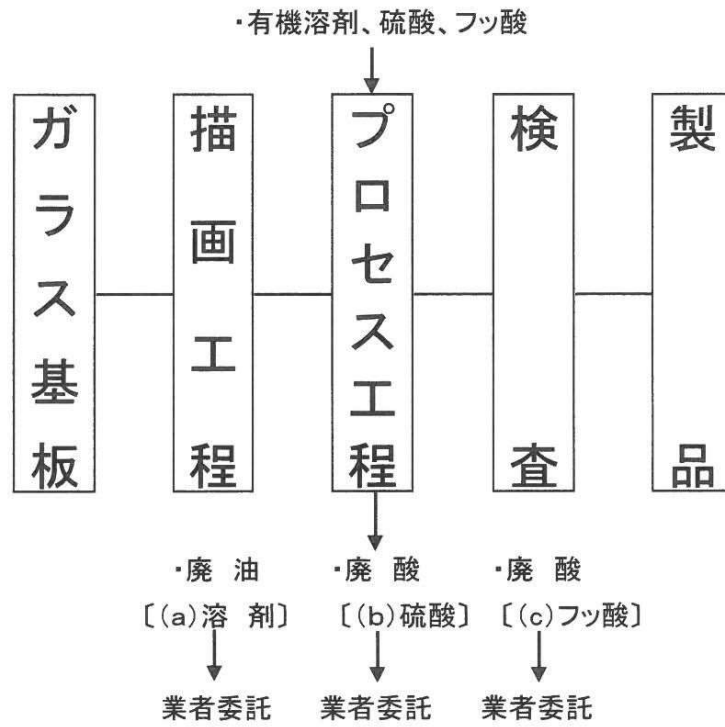


図1 フォトマスク製造フローシート

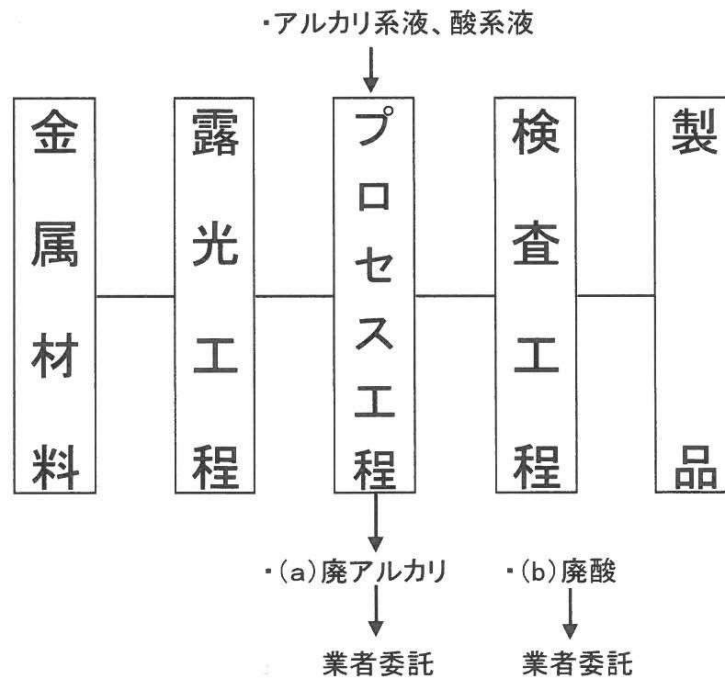


図2 ILS製造フローシート

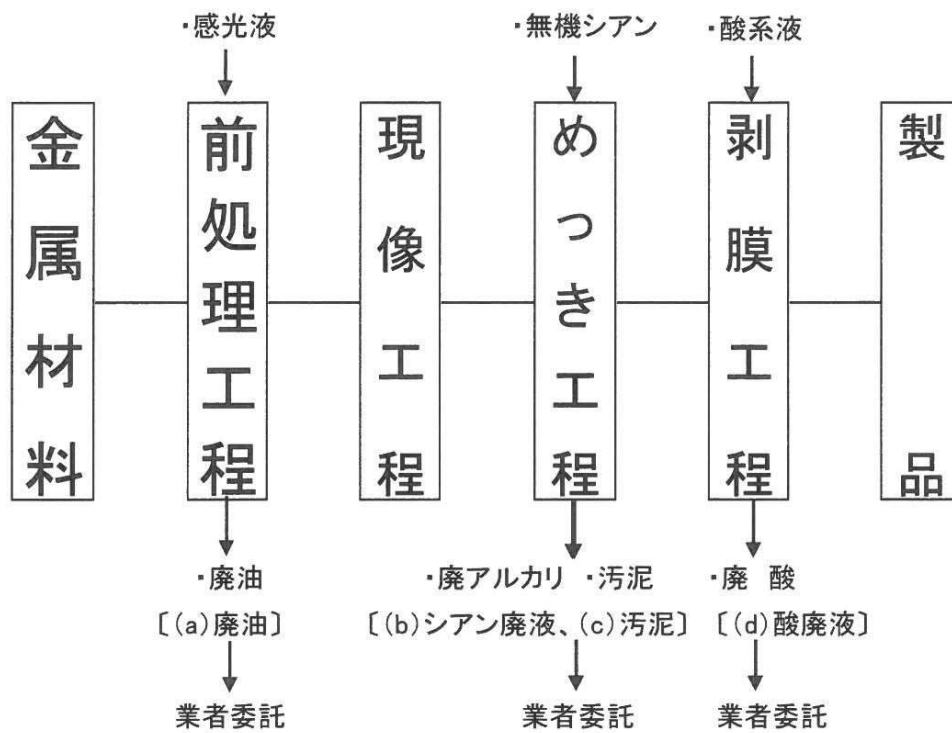
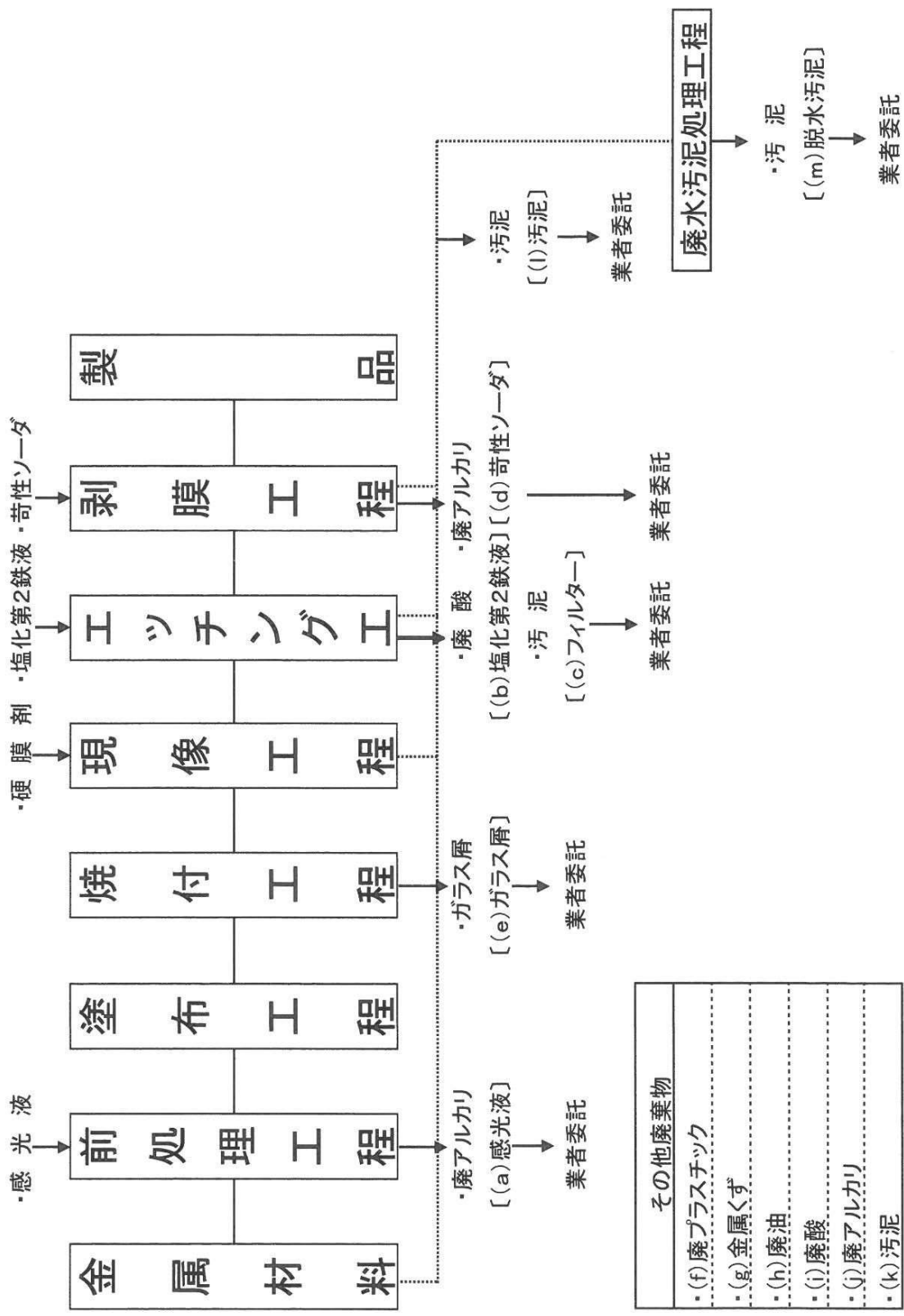


図3 めっきラインフローシート



その他廃棄物
・(f)廃アルカリ
・(g)金属くず
・(h)廃油
・(i)廃酸
・(j)廃アルカリ
・(k)汚泥

図4 リードフレーム製造フローシート

廃水処理施設

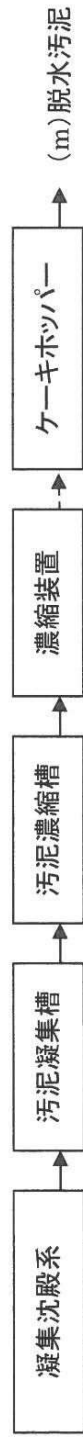
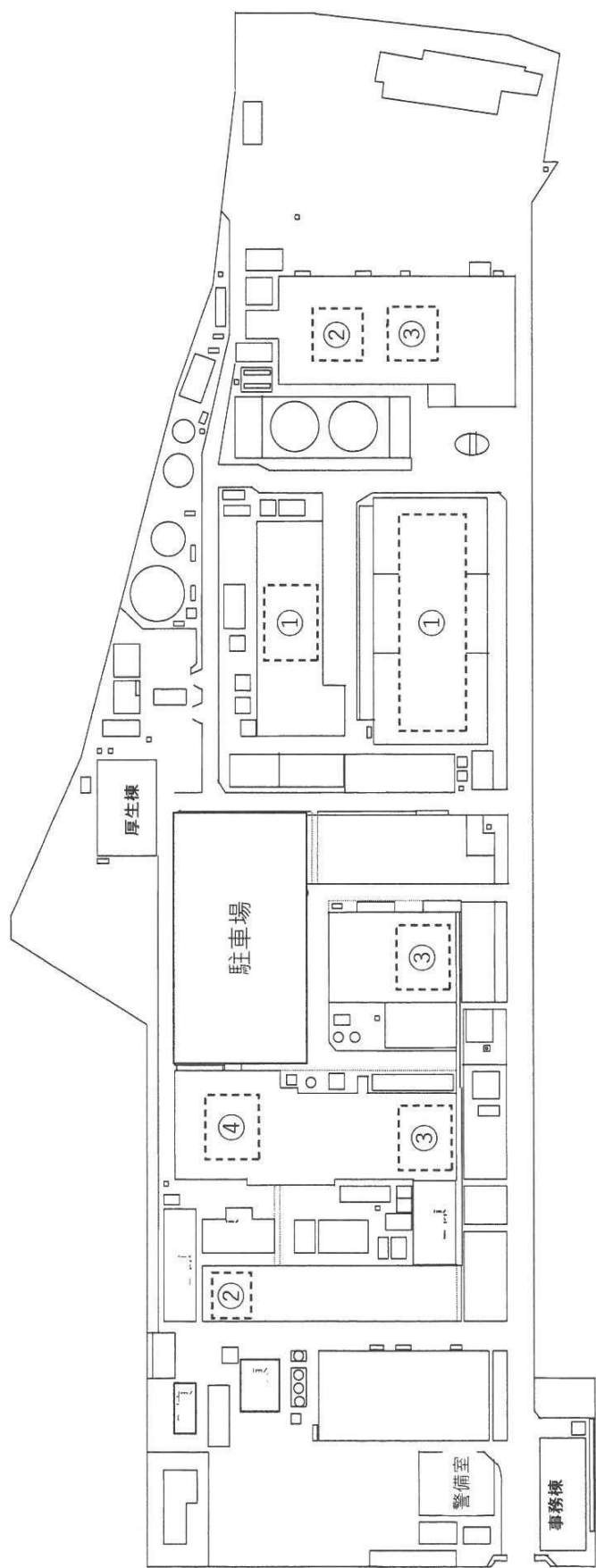


図5 廃水汚泥処理フローシート



①フォトマスク製造工程

②リロードフレーム製造工程

③ILS製造工程

④めっき工程

図6 工場配置図

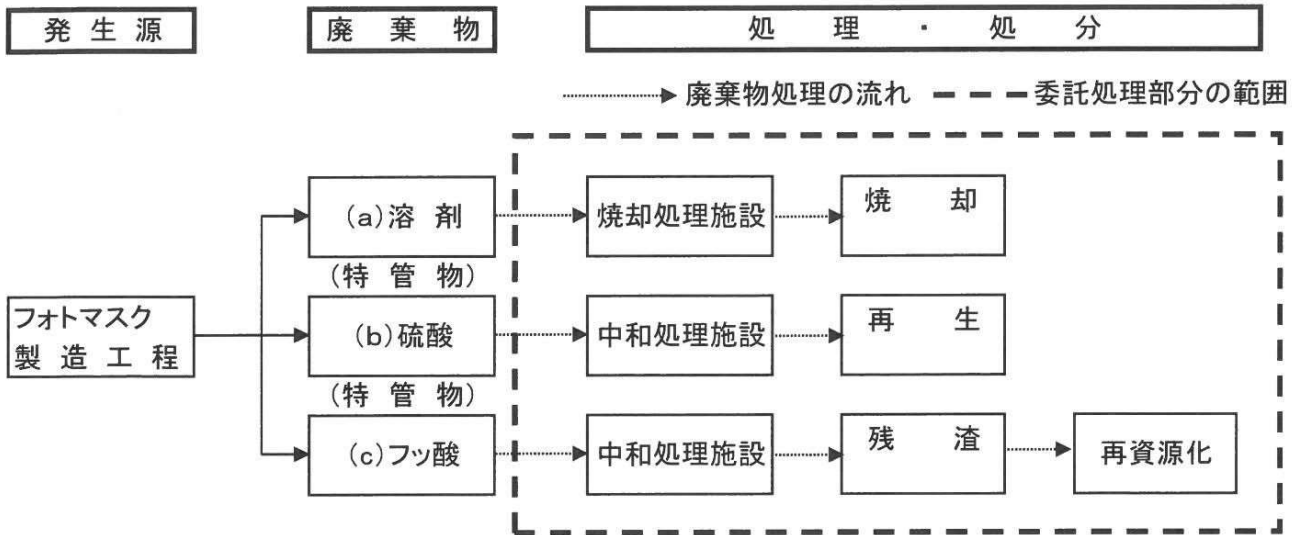


図7 フォトマスク廃棄物処理フロー図

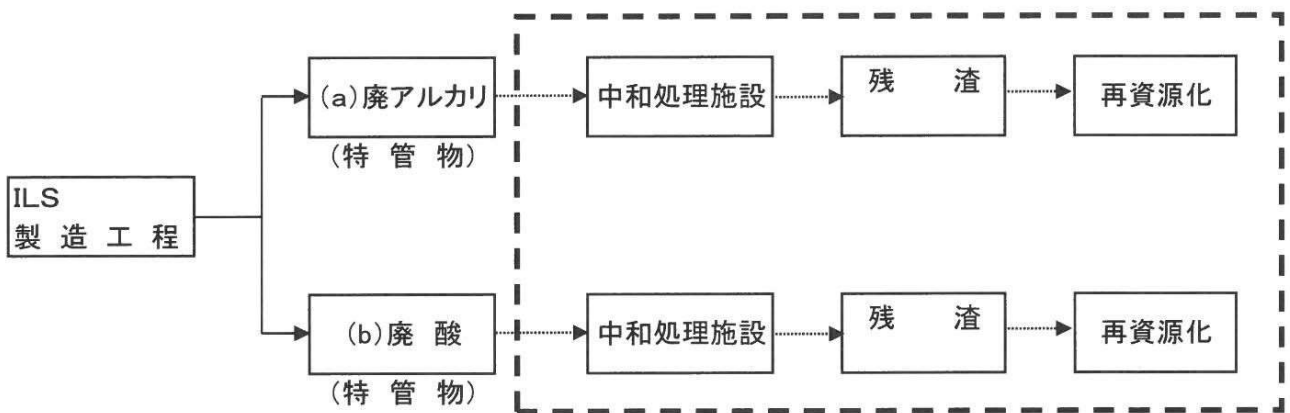


図8 ILS廃棄物処理フロー図

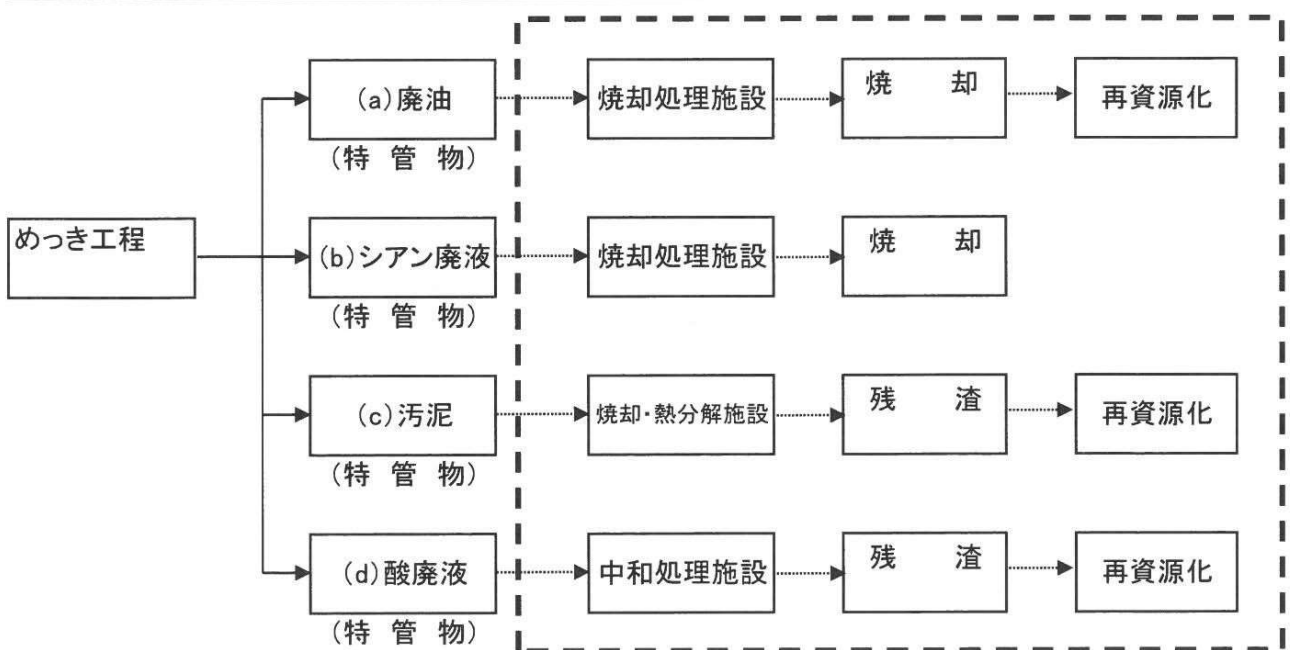


図9 めっき廃棄物処理フロー図

※図7、図8、図9共にその他の廃棄物として廃プラスチック、金属くず等が排出されるが、排出量が少ないため、図10にまとめて記載する。

廃棄物処理に関する管理組織図
(上福岡環境委員会)

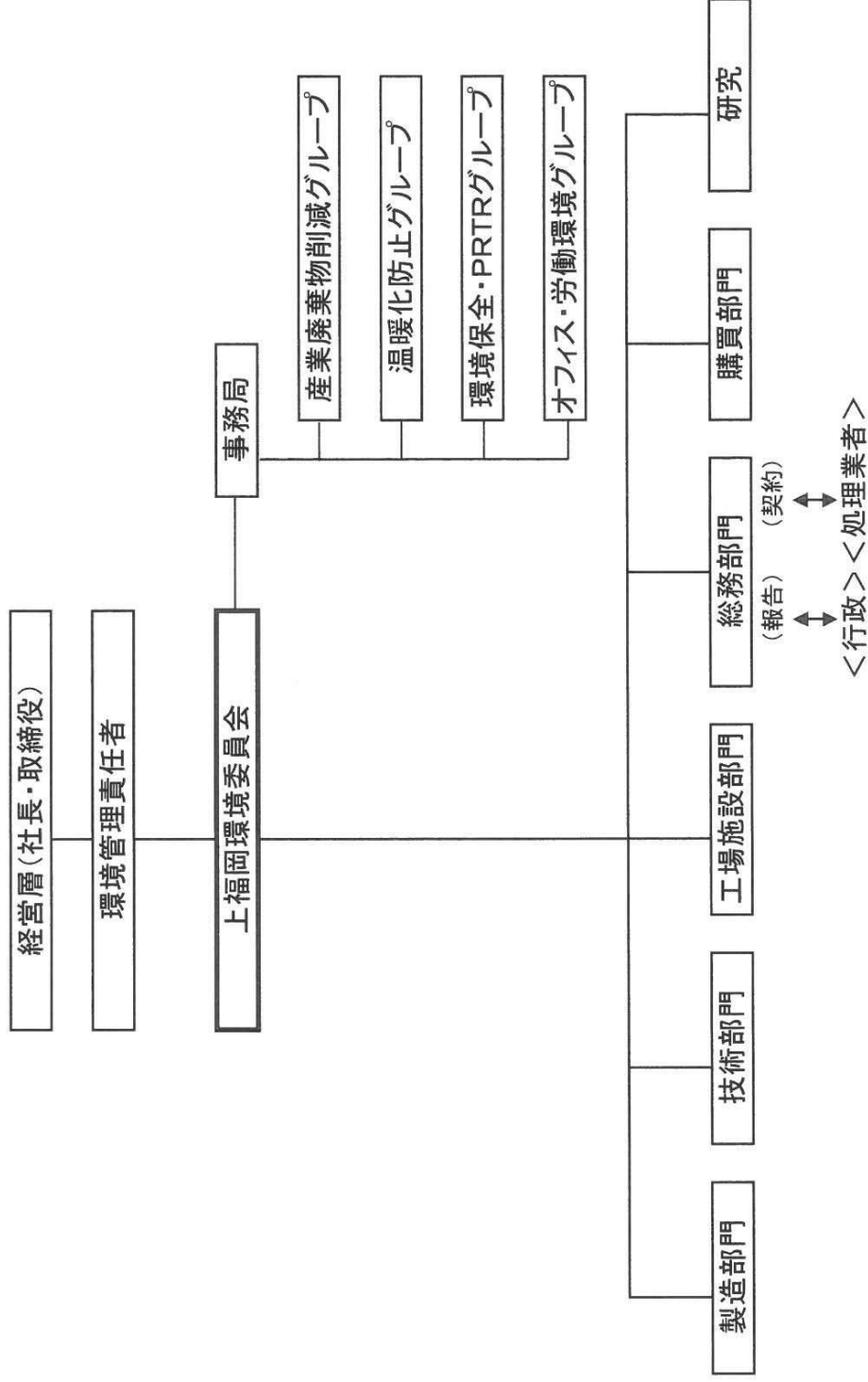


図11 廃棄物処理に関する管理組織図

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。